

前計画「アクションプラン」の取組を踏まえた、現計画「実践プロジェクト」の概要について

資料 1 - 2

【前計画の考え方】

前計画では民間活力を活かした観光振興を推進する「作業部会」において、善光寺・戸隠・松代それぞれの課題解決にあたり、事業者の発想をもとに「アクションプラン」を立案・実施してきました。このことで、地域事業者のネットワーク構築や、戸隠お朝事体験のように自立的なコンテンツ創出などの成果も得られていますが、同時に下記のような課題も生じています。

【課題】

- ① 「作業部会」として関係者一同が集い、協議・決断するやりかたであったため、スピーディな事業推進が難しかった。
- ② プロモーションなど、実施主体があいまいな事業の場合、前に進めにくく、成果も不透明だった。
- ③ やりたいことを地元事業者からきく「手上げ方式」では、必ずしも市の観光振興にとって最適な事業案が出てこなかった。



実施主体を明確にして、民間活力を活かすことを前提としつつ、よりスピード感を持ち、観光コンテンツの販売という実践に即した「実践プロジェクト」を推進する

＜アクションプランにおける課題と、求められる改善点＞

	アクションプラン		実践プロジェクト
実施主体	試行錯誤のなかで検討していた	⇒	長野市、ながの観光コンベンションビューロー または各観光協会が主導する
検討の進め方	作業部会による協議によって進めていた	⇒	〃
事業の期限	(明確に定めていなかった)	⇒	年次計画としてあらかじめスケジュールを設定する
実施内容	プロモーション、コンテンツ開発、情報案内など 個別のアイデアに対して取り組んでいた	⇒	誘客・消費という出口につながる 商品販売の一連のバリューチェーンを構築する
実施地域	善光寺、戸隠、松代、中山間地域	⇒	善光寺・中心市街地、戸隠・飯綱高原、松代、中山間地域

1. 「実践プロジェクト」の概要について

※長野市観光振興計画 15ページより抜粋

市民生活との調和を図りながら魅力的な地域を形成することで、観光消費を増加させ、「地域経済」や「地域コミュニティ」の活性化につなげる

重点政策 1：地域資源を最大限活かした誘客

- 1-1 地域資源を活用した魅力的で多様なコンテンツの創出と流通促進
- 1-2 地域を守り、未来へつなぐ観光振興
- 1-3 コミュニケーションを通じたファンづくり


地区別方針	善光寺	戸隠飯綱高原	松代	中山間
実践プロジェクト	まちなか周遊促進	長期滞在型観光の実現 アウトドア観光推進	宿泊客のまちなか周遊	スローツーリズムの推進

重点政策 2：長野市の魅力を活かしたインバウンドの推進

- 2-1 長野市の特長的な資源を活かしたコンテンツ開発・環境整備
- 2-2 ターゲットに届く効果的な情報発信

重点政策 3：オリンピックレガシー等を最大限活かしたコンベンションの誘致

- 3-1 コンベンション誘致の強化
- 3-2 地域資源を活かしたフィルムコミッション等の誘致

重点政策 4：快適で安全、スマートな観光を実現する基盤の構築 

- 4-1 DXの推進による快適な滞在環境の構築
- 4-2 災害に強い観光都市基盤の構築

長野市観光振興計画（令和4～8年度）では、重点政策1「地域資源を最大限生かした誘客」を進めるために、市内各地区の観光の成熟度に合わせて重点的に実施すべき方針を「地区別方針」と定め、この方針に基づいた「実践プロジェクト」を実施することとしています。

実践プロジェクトの趣旨

各地区において、**コンテンツ開発・プロモーション・販売・地域での定着化**といった一連のバリューチェーンを構築するプロジェクトを実施



地域資源を活かした**観光商品・サービスを数多く生み出し**、消費→満足→再訪問・評判向上の好循環をつくることを目的とする

実践プロジェクトは、前計画（平成29～令和3年度）における「アクションプラン」の取組の成果・課題を踏まえたもので、本資料では、「アクションプラン」の総括と、これを踏まえた「実践プロジェクト」の概要について示します。

2. 実践プロジェクトの進め方

1) 計画における位置づけ

重点政策1「地域資源を最大限活かした誘客」に基づき、地区別方針を反映させながら、当該地区での具体的な事業を展開します。

2) 実施方針

①個別の取組ではなく、コンテンツ開発・プロモーション・販売・地域での定着化といった、観光商品を販売するための一連のバリューチェーンを構築するプロジェクトとして実施します。

②長野市、ビューロー及び各地区の観光協会がプロジェクトの実施主体となり、関係する事業者を巻き込みながら推進していきます。

③プロジェクトは、年度ごとに具体的な事業計画を定め、年間スケジュールを設定して進めます。

3) プロジェクト推進の役割分担

主体	実施内容
長野市観光振興課	■全地域のプロジェクトの推進（※） ・会議/ミーティングの設定 ・進捗状況の把握、必要に応じた実施の働きかけ
ながの観光コンベンションビューロー、各観光協会	■各地域における事業の企画 ■実施に向けた事業者、観光施設等との調整 ■事業の実施

※各企画の立案支援、進捗管理支援について外部事業者へ委託

4. 令和4年度の実践プロジェクトの具体的な取組

地区	実施主体	企画内容
善光寺	長野市、ながの観光コンベンションビューロー	<p>①まちあるきを軸とした「着地型コンテンツ」の開発・販売プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市中心市街地にある、古民家リノベーションのカフェ、路地裏めぐりといった資源を活かし、ガイドや体験等の付加価値をつけた収益性（※）のある商品を開発 ※民間事業として成立する水準、例えば数千円の体験ツアーなどを想定する。
戸隠・飯綱	長野市、ながの観光コンベンションビューロー、戸隠観光協会、飯綱高原観光協会	<p>②Eバイクの戸隠－飯綱相互乗り捨てを活かした宿泊客獲得プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両観光協会がレンタルEバイクを回収する仕組みを固め、秋以降に運用開始を目指す ・宿泊施設と連携して、Eバイク関連コンテンツなど高付加価値化した宿泊プランを売り出す <p>③戸隠ならではの自然、歴史、文化を活用した滞在型コンテンツの造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かやぶき屋根体験ツアー、早朝バードウォッチングツアーなど
松代	長野市、ながの観光コンベンションビューロー、信州松代観光協会	<p>④まちなか周遊Eバイクツアーの宿泊パッケージプラン販売プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のEバイクコースについて、「名物ガイド」や飲食・体験による付加価値化をはかりながら、宿泊施設と連携した販売を行う <p>⑤文化財施設を活用した飲食コンテンツ開発プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「真田邸で伝統料理を食べる」など、地域の歴史文化資源を活かしつつ、その魅力に合わせたコンセプトの飲食体験（※）を提供する ※本年度は、まず文化財の観光活用の実績をつくることを目指し、期間限定・予約制などによるイベントを試験的に開催することを想定する。
中山間地	長野市、ながの観光コンベンションビューロー、各地区観光協会	<p>○市の主導する現地リサーチによってプロジェクトを立案する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地では、自然環境や里山暮らしなどの地域資源が高単価な宿泊コンテンツを生み出す可能性があるが見込まれるものの、現時点ではこれを販売する事業者が不在の状態にある。 ・そこで本年度は、長野市観光振興課が主導し、中山間地における宿泊や体験事業者をリサーチし、事業者をピックアップし、関係主体とともに実践プロジェクトを立ち上げる。

＜実施スケジュール＞

			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全プロジェクトの進捗管理MTG（観光振興課で実施）			★			★		★			
善光寺	まちなかコンテンツ開発	コンテンツ企画									
		宣伝販売									
		結果検証・次年度の検討									
戸隠・飯綱	Eバイク乗り捨て宿泊プラン	相互乗り捨て仕組み設計									
		相互乗り捨て運用									
		連動するコンテンツの開発									
		宿泊連動プラン宣伝手配									
		宿泊連動プラン販売(じゃらん等)									
		結果検証・次年度の検討									
松代	宿泊Eバイク	宿泊連動ツアー企画									
		宿泊客向けツアー宣伝販売									
		結果検証・次年度の検討									
	文化財での飲食体験	文化財活用企画／利用の打診調整									
		試験的イベントの宣伝・開催									
		結果検証・次年度の検討									
中地山間	プレミアム宿泊	事業主体リサーチ									
		プロジェクト企画									
		チーム設定・次年度事業の取り決め									

成果とりまとめ、次年度事業の計画

凡例：★・・・進捗管理ミーティング（観光振興課）

■・・・宣伝販売・運用・開催など事業実施